

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL044-813-4705 FAX044-814-0250 http://furusatokan.web5.jp/

第1回・第2回歴史探究講座が終了

石造物入門パート1を9月13日(土)に開催しました。講演には多くの資料が用意され、宝塔や庚申塔などの石造物を見て歩く時の基礎的な知識を教わりました。



▲講師の横田忠夫氏

また、講演の後半では映像資料による石造物、特に川崎市にある古い順の庚申塔の説明は興味深く伺いました。講演後「石造物から逆に見られている気がします。資料を参考に石造物を見て歩きたいと思います。」などの感想をいただきました。(参加者 59人)

次いで、10月18日(土)に渡辺美彦氏を講師に石造物入門パート2を開催しました。講演ではご自分が調査にかかわった体験をふまえながら、板碑に関する基礎的な知識や神奈川県にある板碑の石は埼玉県で採れる緑泥石片岩が最も多く使われていること、また真鶴石や伊豆石の安山岩など石材の性質についてお話をいただきました。参加者からは「いろいろな石があり、地方によって色も材質も異なり面白かったです。」との感想がよせられました。(参加者 40人)



▲講師の渡辺美彦氏

ふるさと子ども出前授業

～ふるさとの歴史を学びました。～

郷土愛を育むことをねらいに「ふるさと子ども出前授業」を高津小、東高津小の2校で3年生を対象に行いました。授業に参加した児童は両校で347人でした。



▲講師の宮田進氏

まず、授業は映像を見ながら自分たちの学区や学校の位置を理解することから始まりました。

講師の宮田進氏(高津小担当)高橋和一氏(東高津小担当)の豊富な知識や経験と工夫された映像資料により子どもたちは集中力を切らすことなく、授業に参加し、学区の特色を熱心に学んでいました。

また、大山街道と人々の生活とのかかわりや、現在も残されている名所や神社・寺院なども詳しく説明していただきました。授業の後の質問コーナーでは、大勢の子どもたちが、地域のことや大山街道について熱心に質問をしていました。



▲出前授業の会場

★ふるさと発見講座開催のお知らせ

第2回ふるさと発見講座参加者の募集

◆テーマ 「川崎市の生んだ詩人 佐藤惣之助」 ～華やかな散歩～

川崎の生んだ詩人、佐藤惣之助は有名な詩人ですが昭和初期から太平洋戦争にかけて歌詞作家として活躍しました。「人生劇場」「湖畔の宿」そして「六甲おろし」などヒット歌謡曲の作詞家としてより多くの人々に知られるようになりました。

今回の講演では、享年52歳という若さで彗星のごとく消えていった惣之助の人間模様と時代背景を中心に、演劇作家 小川信夫氏に熱く語っていただきます。

12/10

(水) 13:30～15:30

◇日時

◆講師

小川 信夫 氏 (演劇作家)

◇会場

大山街道ふるさと館 イベントホール (2階)

◆定員

60名 (先着順)

◇参加費

300円 (資料代含む)

◆申込み

11月10日(月)から

※大山街道ふるさと館まで

電話、FAXまたは窓口まで



▲講師の小川信夫氏

第3回ふるさと発見講座参加者の募集

◇テーマ 「高津のまちを歩きますか」 ～溝口から坂戸を巡る～

◆日時 **平成27年 1月14日(水) 13:00～15:30**

(約3.5キロ)

—ふるさとの魅力を再発見—

今年度の新規事業として、発展する「高津のまち歩き」を企画しました。今回は佐藤 忠 氏(高津シルバーガイドの会代表)の案内で溝口から坂戸を巡ります。たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

☆コースの概要 JR南武線武蔵溝ノ口駅～栄橋～中原堰跡～坂戸緑道公園～ミットヨ製作所

※行程の都合上、13時には出発いたします。(雨天決行)

◇集合場所 **JR南武線武蔵溝ノ口駅改札口広場** ※集合時刻 **12時40分(時間厳守)**

◆定員

30名 (先着順)

◇参加費

300円(保険代及び資料代)参加費は当日集金します。

◆申込み

12月10日(水)から

※大山街道ふるさと館まで

電話、FAXまたは窓口まで



▲坂戸緑道公園

子ども大山街道探検クラブの活動



～9月 ニヶ領用水がきれいになったよ!～

夏休みが明けて最初の探検クラブは、ニヶ領用水の清掃と環境教育でした。子どもたちが楽しみにしている活動の一つです。清掃の前にニヶ領用水ウォッシングフォーラムの方から清掃に使う道具のお話をうかがいました。実際の活動で、子どもたちは見つけたゴミをマジックハンドで拾い上げる作業に夢中になっていました。



▲活動の前に

ウォッシングフォーラムの皆さんや近くの教会の方たちとも一緒に活動し、たくさんの方と触れ合いました。

32名の子どもたちのお蔭でニヶ領用水や道路沿いがとてもきれいになりました。ウォッシングフォーラムの皆さんや近くの教会の方たちとも一緒に活動し、たくさんの方と触れ合いました。



▲マジックハンドを使って



～10月 光明寺・二子神社方面の史跡を訪ねて～

10月の探検クラブは二子方面の探検を計画していましたが、雨天のため室内での活動になりました。最初に「溝口界限 今と昔～大山街道～」のビデオを視聴しました。その後、講師の先生から「二子神社」や「かの子記念碑」など街道沿いに在る名所や寺院のお話をうかがいました。特に火事になっても燃えにくい「蔵造り」といわれる建築のことや「光明寺」は明治になって初めて学校ができた時に、本堂がそれにあてられ「二子学舎」と呼ばれたことなども教わりました。



▲「蔵造り」のお店



▲光明寺

大山街道(二子・溝口宿)をゆけば

二子・溝口宿の主な史跡をシリーズで紹介します。街道散策の折の参考になれば幸いです。

「第3回 大貫家の人々」

(所在地：高津区二子)



▲二子・大貫家

(昭和41年撮影)

二子橋を渡り、大山街道を西に進むと、二子宿のはずれに江戸時代幕府諸大名のご用商人として巨万の財をなした大貫家(大和屋)があります。平成4年までは広大な敷地に大貫病院を経営しており、当時の土蔵が市の文化財としてありましたが、老朽化のために撤去され、病院も後を継ぐ人がなく廃業となってしまいました。その大貫家は、大正期の女流小説家岡本かの子の実家であり、画家岡本太郎は長男です。太郎はここで生まれました。その向いにある光明寺には大貫家の墓があります。中でも目に付くのは雪之助の墓碑です。大貫雪之助(晶川)は明治20年2月、寅吉の次男としてここで生まれました。第1高等学校在学中に文才を認められ、妹カノ(後の《岡本かの子》)と共に与謝野鉄幹・晶子夫妻の「新誌社」に参加し、東京帝国大学英文科在学中、第2次「新思潮」が主宰する創刊にあたっては、谷崎潤一郎・和辻哲郎・木村荘太・後藤末雄などと共に同人として活躍し前途を期待されましたが、大学を卒業した年の大正元年11月、丹毒の病によって急逝しました。



▲岡本かの子記念碑

—ふるさと館休館のお知らせ—

ふるさと館では、平成27年1月5日(月)から2月18日(水)までの期間、空調設備改修工事を行います。そのため、全館休館となりイベントホール、会議室等が使用できなくなります。

当館を使用する予定の団体の皆様には、ご迷惑をおかけすることになりますが、何卒ご理解をたまわりますようお願い申し上げます。

申込み・問合せ 大山街道ふるさと館

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3
 電話：044 (813) 4705 FAX：044 (814) 0250
 開館 時間 ・9：30～21：30
 休 館 日 ・年末年始(12月28日～1月4日)
 施設点検日 ・毎月 最終金曜日
 床 清 掃 ・奇数月 第3水曜日
 ※施設点検日、床清掃日は会議室等の利用ができません。
 ※駐車スペースがありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

—館案内図—



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
 東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

—雄壮な溝口神社祭礼巡行—

今年の溝口神社の祭礼は、9月13日(土)が宵宮、14日(日)が本宮。祭礼当日は晴天に恵まれ、秋空にたなびく神社の「のぼり」は、

勝海舟が筆を入れたと伝えられ、社宝になっていることでも有名です。この歴史ゆかしい溝口神社は、かつては赤城社といい、古くから溝口一帯の総鎮守として人々に親しまれてきました。また、めずらしい「しゃもじ絵馬」は、縁起物として土地の人々に人気があります。

「ドーン」「ドーン」と響き渡る大太鼓に続いて、各町会の神輿は、かけ声高らかに街道一帯を勇壮に練り歩いています。



—厳かにお会式万灯パレード—

興林山宗隆寺のお会式が今年も10月21日(火)に営われました。お会式は、宗祖日蓮上人の忌日に行われる法会です。

お会式に近隣や遠方の寺々から数多くの万灯が参加する「万灯練り供養」は、溝口に秋を告げる風物詩の一つになっています。当日は、夕刻から大山街道ふるさと館近くの溝口十字路を出発点に、宗隆寺までの道程を練り歩く光景は、まさに影絵を思わせるほど幻想的です。笛、鐘太鼓や笛の音が秋の夜空にこだまして万灯パレードはクライマックスを迎えます。沿道の人々はその光景をカメラに収めていました。

